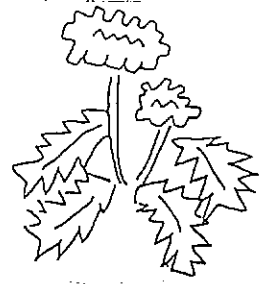


NO 161
 H12年11月1日
 -発行-
 7869-1217
 熊本県菊池郡
 大津町森54-2
 社会福祉法人
 三気の会
 三気の里
 ☎096-293-8100



経験

園長 松田健

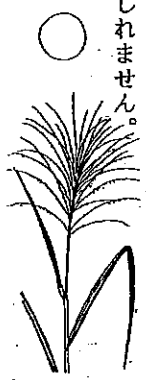
自閉症者に対する数々の療育法があります。それぞれの勉強会や研修会に行くと、自分らの療育法に対してという批判があるが、正しく理解していないからだ、どこも同じようなことを言われま。おかしくなってきました。自分たちの療育法が一番で、批判は許さないと云っているような気がするからです。まるで一部の宗教団体や政党のようです。

その療育法は、驕り高ぶった考えが多く、仲間言葉をしやべって閉鎖的な世界を構築しているものが少なくないように感じます。丸山真男氏が「日本の思想」の中で、日本の文化風土を「タコ壺文化」と表現しましたが、どうしても私の中で重なり合っています。福祉の世界に踏み入って一番驚

いたのが、経験至上主義であったことです。三十過ぎてこの世界に入ったので、多分によっかみもあり、そのことをコンプレックスとして感じていたこともあり、余りにも経験年数を重視した縦系の社会のため強い抵抗があったのを覚えています。無能な人が何年もこの仕事に就いている弊害をどう説明するのか、聞きたいところですが、大抵自分のことではな

いと思っているから始末が悪く、新しいことは何もしない、いやなこととは押し付ける、自分からは動かない、過去の思い出は大切にするとといった施設人間が完成します。そもそも今頑張らない人から過去に頑張っていましたと言われて、信じると言うほうが無理です。強面のボスの存在の輩がいて、暴力的指導をするような施設は悲劇的です。年功序列、経験至上なので若手がいくらかおかしと思っ

ても言えませんが。もし意見するものなら、「経験がない奴にはわからない。」と一喝されます。有能な人はどんどん辞めていきます。福祉の世界は、その閉鎖姓から利用者迷惑をかける行為に對しての仲間での「かはいあい」(例えば、職員が遅刻をしてもお互い様だからといって黙認するといった利用者不在の論理がまかり通っていること。)や、異端を排除するステレオタイプの人間が多く、自己評価が自己能力と比して高い人や自分の失敗を利用者のせいにして恬として恥じない人が多いような気がします。社会福祉基礎構造改革では、能力によって給与等の格差をつけること、つまり、実力によって差別化を行うという企業の論理が入り込んできます。全てを良しとしませんが、少なくとも安穩としていられないことだけは事実です。





1班・「コーヒータイム始めました」

もう間もなく11月に入りますね。

学生のとときの夏休みの様に、最近では1年が本当に短く感じる今日この頃。自宅ではすでにコタツが活躍しており、冬に向けての準備は万全です。

さて、1班では毎日の様にJT作業を頑張っています。最近では、製品の方も順調に入って来ており、少しずつですが月ごとに作業収入も増えてきています。新しく加わった佳子さんもすでに1班の戦力として活躍中です。と、ここまでは、いつもと変わらない1班の様子ですが、今回は大きなニュースがあります！今までなかなか実行できなかった“コーヒータイム”を始めました。午前中の作業終了後、コーヒーセットを準備すると、皆は一斉に嬉しそうな表情をします。コーヒーを作る際は、よっちゃんがコーヒーや砂糖を入れる係、まーくんがカップを洗う係と役割が分担されており、各々が、上手に行ってくれます。

コーヒータイムを始めた頃から、心なしか、皆の作業に対する集中力が増した様な感じがします。やはり、お楽しみがあるのと、ないのとでは違うのでしょうか。 高田

2班・秋のバーベキュー IN 産山

爽やかな秋晴れの日です。山盛りの材料と、バーナー、鉄板等を持ち込み、まずは、場所選びから…「こっちが綺麗だよ。」と、駆け出す私。小川の流れる山間のテント小屋の近くです。両角指導員と、江藤指導員とで、焼きそばをつくってもらい、その他の皆は、付近散策のに出ました。

舗装された狭い道を上って行くと、久住花公園にでます。この時期コスモスが見所の筈ですが、花公園にでても、コスモスの花の塊がちらほら、と言う感じで、あまり風情も無くがっかりでした。

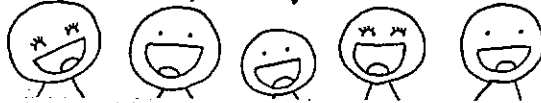
(少々時期が早かったのでしょうか。)仕方無しに足早に公園を後にすると、今度は、谷間の清流に沿って、元の場所に戻ることにしました。しかし溪流沿いは景観は抜群に良いのですが、足元の方が何ともおぼつかず大変です。明日香さんは、途中で榎本指導員におぶわれたくらいでした。朽ちかけた橋なども、そうやって何とか渡ることが出来、やっとの事で念願の昼食です。ソース焼きそばに、焼き肉、そして、大盛りの野菜類。散歩が予定より長引いたせいもあって、皆“食欲旺盛！”普段の倍くらいは食べたかな？心もお腹も大満足の秋の一日でしたね！ 坂本

3班・秋空の旅

気持ちいいはずの秋風が寒く感じられる程の10月19日、私たち3班は大分県にある「くじゅう花公園」へ、レクリエーションに出掛けました。秋の桜と言われるだけあって心を和ませてくれるコスモス、赤・紫・白といった色とりどり100万本のサルビアを背に、私たちはお弁当を広げました。肌寒かった秋風も昼食の時間には暖かい日差しに変わり、食事が済むと横になるみんなの姿がチラホラ…。花畑を散歩する人、一輪の花をじ〜っと観察する人、花の香りに誘われて眠ってしまう人、楽しみ方は様々でしたが、みんなの笑顔が楽しい1日を物語ってくれていたような気がします。最後はひまわり畑にて記念撮影。秋に見るひまわりも格別でした。

「立ち止まって初めて気づく一輪の花の美しさ。」たまには歩くのもいいかも知れませんね。道端に咲く見近な花こそが季節を感じられる、そんな気がします。 井手

班ニュース2 ヤッホー



4班・美味しい秋、見つけた!

ほのかに金木犀の良い香りが漂い始めました。秋ですね…皆様はいかがお過ごしでしょうか。去る9月28日(木)心地よい空の下、天気にも恵まれ、私たち農耕班は河内町の『優峰園』に梨狩りに出掛けました。バスを降りると、かわいい犬の“メリー”がお出迎え。たわわに実った梨の木まで案内してくれます。ところが犬は苦手なるり子さん、「キャ〜!こわ〜い〜」と大騒ぎでした。一息ついたところでまずは昼食です。それぞれが自分で選んだお弁当を食べました。外で食べるお弁当はどうしてこんなに美味しいのでしょうか。続いてはお待ちかねの梨🍐しばらく職員は梨の皮むきに専念します。その間に「この梨は甘くておいしそう!」と梨狩りを楽しむ人、食べることに夢中の人、みんな秋の味覚に大満足でした。

さて、11月は唐芋の収穫をします。今年の出来はどうでしょうか。皆様も農耕班の唐芋を召し上がってみませんか?

石田

5班・時間厳守です

園芸班では“1時半作業棟”というスローガンをかかげました。というのは作業をこんなにも頑張れる人達なのに一人一人作業に行くよと呼んでまわるのはおかしいよね。放送を入れたり、呼びに行ったりするから、人を頼り過ぎているよね。ということに今になって、職員が気づいたからです。スローガンをかかげたからには、職員ものんびりはしてられません。1時15分を過ぎるころにはバタバタとトイレを済ませて作業等へと走ります。時間に遅れた人は、その分居残り作業をすると決めていますので職員と先を競うように作業等へと走りだす人もいます。時計を見て自分のすることをして、ゆったりと出てくる人もいます。やっぱり、呼ばれるまでテレビを見ていたり、昼寝をしていたりで作業棟に來れない人もいます。そこで、1時半の時計の絵を手に提げて時計のある部屋で昼休みを過ごしている人もいます。1時からのドラマが終わるとすぐに作業等へと走る人もいます。ちょっと職員が意識したことで、みんなも1時半から作業ということ、自分で行動することの意識ができてつあります。将来就職できるチャンスが来たときに、時間を守って仕事ができるように、小さな一歩をみんなで踏み出しました。

石丸

6班・個別作業

毎朝、他の班がフリーのときでも、仕分け作業を頑張っている6班の皆さんですが、お昼からの作業は内容を知らない方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

今回は午後からの6班の人達が何をしているのかを報告したいと思います。

まず、荒毛さんと宮本さんは、2班よりネットを頂いて、2人でネット作業を頑張っています。次に有働さんと松島さんは紙すき用の紙を細かく切る作業、光山さんは牛乳パック切り、神沢さんは牛乳パックのラミネートはがしと紙すき用の紙きり。中嶋さんは花壇の手入れ、2班の作業棟の前に、きれいな花を季節毎に咲かせてくれています。富田さんは畑仕事をがんばっています。オクラやピーマン、かぼちゃなど上手にでき、多くの方にお買い上げして頂きました。また次に向けて頑張っていますので、その時はよろしくお願ひします。最後に満塩さんと福永さんは、毎日2人仲良く散歩へ行っています。

以上が午後からの6班だから出来る個別作業でした。

大橋

親になって

榎本 英也

私は今年の1月に子供が産まれ、保護者の仲間入りをしました。

“親ばか”とか“我が子は目に入っても痛くない”などという言葉に耳にしていきましたが、そういう気持ちになる親のことが今、何となく分かる気がします。我が子はやはりかわいいものであります。またかわいいばかりではいけない親の責任があることも徐々に感じてきています。子育てというものは本当に理屈では分かっていますが、うまくできない難しいものだと思います。

私の子供は9カ月を過ぎ、徐々に自我が芽生えてきていると共に知恵をつけてきています。よく私が食べ物食べていると、はいはい”をしながらか近寄ってきます。目的は私ではなく、食べ物です。食べ物を口に入れてあげるとおもしろいことに食べます。食べる事は楽しいことですが、食べさせる楽しさも分かってきました。ただこの頃になると、食べ物に対して興味

を持ち始め、満腹であるのにもかかわらず、食べ物があるだけで近寄ってきては手に取り遊び始めたりします。本人をその場所から離すと大声を出して泣き出します。

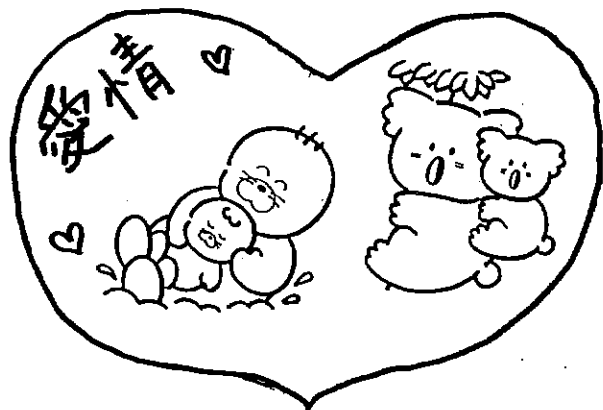
泣き出す姿を見ると可哀想になり元の場所に戻すと、遊び始め泣き止みます。この経験を通して、泣けば欲求が叶うと知恵を付けているようです。(経験して知恵を付けて人格を形成していつているのです。) 私たちも子供の泣く姿より満足している姿をいつも見たいし、泣き声はうるさいからやはり静かな方がいいです。でも子供の欲求を常に叶えてあげようとすることは大事なこともかもしれません、全部叶えることは無理ですし、無理な方がよいのではないのでしょうか。なぜならば常に欲求が叶うなら人間は努力の意味が分からないうし、忍耐力がつかないでしょう。欲求を叶える為に努力し叶った時のうれしさ、叶わなかった時のつらさを経験し、正しい知識を教えるもらい、さらに努力もするものです。こういった経験の連続で正しい行動がとれ、心のバランスがとれた人に育つからです。うれしさからは心の豊かさが生ま

れるでしょうし、つらさからは我慢強さが生まれるでしょう。我が子にも前記の教育ができるよう親として成長しないといけないと感じました。そうすれば指導員としてもっと成長するのでは...と思います。

また話は変わりますが、ある日の新聞に“ショートタイム、ハイタッチ”というテーマの記事がありました。読んでみると最近は、子供の非行が増えてきているが、その原因として共働きが多く子供に接する時間があまり取れないからだと思っている人が多いとの記事が載っていました。ただ昔の事を考えてみると親が農作業等で朝から晩まで畑に出ていて今と変わらなくらいいしか子供に接していなかったのに、なぜ非行が少なかったのか。それは昔の人は短い時間でも愛情一杯で子供たちに接し、たくさんさんのスキンシップを与えたそうです。(ショートタイム、ハイタッチ)今はそういったことがあまり行われていないのが現実のようです。時間ではなく中身が問題のようです。我が子にも仕事をしていることを口実にせず、しっかり向き合って行かなければなり

ません。

最後に親になって人を育てる事の重要さを改めて感じるようになりました。理屈では分かっていますがうまくできない、でもやらなければならぬといった葛藤みたいなものがあります。私は今三氣の里で人を育てる立場にあります。「我が子を育てられないで人の子が育てられるか。」と言われぬように頑張っていかなければなりません。



妹

宮本 智実

毎月1回、第2土曜日(昼)に、選択食を行っています。レクリエーション・外出などの他、日常は自分の好きなメニューを選んだりする機会がありません。そこで、普通の食事場面でも、選択食を取り入れて、少しでも好きなメニューを食べてもらえたらと思い始めました。選択食を行うにあたって、まず主菜から始めて、2つのメニューから1つを選ぶことから始めました。(肉うどん◇きつねうどん)(ハンバーグ◇からあげ)など。また、昼食開始時間を早めてもらったり、数日前から選択メニューの写真を貼ったりして、皆に知ってもらうことから始めました。第1回目での選択食では、迷ってしまったり2つとも持って行こうとしたり、混乱して時間もかかってしまいました。回数を重ねるごとに皆なれてきて、配膳もスムーズに出来る様になりました。これからも、選択食の回数・メニューのレパートリーを増やしていけたらいいなと思います。

金丸

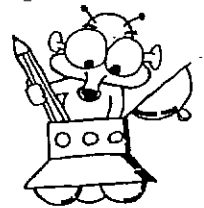
妹が「三気の里」に入所して半年が過ぎました。彼女の声はとて大きく、土曜・日曜帰ってくるたびに、我が家はとて賑やかにあります。帰って来るなり、三気の里での生活やお友達の事を一生懸命話すのです。(私には意味不明な点が多々有るのですが、半分程は理解できます。)そのせいで、普段(月々金)どれだけ家の中が静かなのか思い知らされます。もちろん以前はその声が煩わしくてたまらず、そのせいで小さな衝突は度々ありました。でもいざ彼女の声が聞けないと、悔しながら少し淋しい気もしてしまうのです。

今、妹は充実した生活を送っている様です。以前家ではわがまま一杯だったマイペースな妹が、少しずつですが出来る事が増し、笑顔が増し、落ち着いてきたように思えます。そして、私の妹に対する気持ちも、少しずつ変わってきているような気がします。



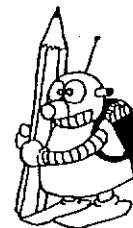
避難訓練

木下 昭二



去る10月4日(水)に避難訓練を行いました。2:00PM、非常ベルと共に当日のディレクター(私)による第一報「訓練火災発生」厨房より出火しました。利用者(園生)の皆さんは至急運動場に避難してください。職員は「で訓練がスタートしました。ベルの音に反応して興奮する人、律義に?火元に近い方の下駄箱へ行って靴に履き替えようとする人等反応は様々ですが、これまでの訓練の成果もあって混乱する人はとても少なくなりました。運動場集合後職員を対象に消火器の実技講習が行われ、時間内に消火できない職員もいて心細い思いをしましたので、次回再挑戦してもらいます。終了後の署員の方との反省会で、利用者の方と職員の区別がつかない。夜間火災の想定訓練を」の大きな大きな二題をいた

だきましたので今後の課題としたいと思います。消防署員、西日本防災の方々大変お世話になりました。



作品展示・即売会

来る11月3、4日に熊本県農業公園にてふれあい、心、バザールと題し作品展示即売会が行われます。各施設より農作物、木工品、園芸品、陶芸品等々、各施設より販売されます。他にも特産品、ゲームコーナーアトラクションなどたくさんイベントコーナーがあります。

ちなみに三気の里からは、飲食コーナーより、ぜんざいとおはぎを出店予定しており、また作品展示即売コーナーでは、三気の里のみんなが作り育てたさつま芋、押しピン、花苗、はがき等を予定しております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

笠松

第14回全国自閉症者施設協議会

大分大会に参加して

石井 康就

去る、10月12日・13日の2日間、大分県で行われた全国自閉症者施設協議会に参加させて頂きました。

一日目は3カ所に分かれての実践講座、4つの分科会が行われて

います。実践講座では①の「自閉症施設におけるTEEAACHプログラムの実践」に参加させて頂き、

星が丘寮の施設長寺尾先生より講義をして頂きました。実際に施設

でTEEAACHを導入し、取り組んでおられる様子をビデオを交え

ながら分かりやすく説明して頂き、大変参考となるものでした。その

後の分科会では「強度行動障害への援助について」と題して、我が

三気の里より大賀指導員が発表され、コメンテーターの片倉先生か

らや、フロアーからたくさんのアドバイスやご意見を頂き今後にお

おいに参考となるものでした。

2日目の記念講演では、福井大学の熊谷先生より脳の分野から自

閉症の障害について先生の仮説を交えながら説明して頂き、脳のこ

とはあまり分からない私にとって

はたいへん貴重なお話を聞かせて頂きました。

今回もたくさんの施設や保護者の方たちが参加され、大変素晴らしい会となりました。最後にこの大会を主催されたためぎ園の職員の方々、関係者の方々に感謝申し上げます。お疲れ様でした。

新人職員紹介

菊池 優香



9月18日より、非常勤職員として、働かせて頂くことになりました。

今まで、他の施設で7年余り働いてきましたが、まだまだ勉強不足で、三気の里で働かせて頂くからは毎日新しい発見、学ぶことばかりです。

これから、もっと勉強をし、専門性を高め、利用者の方々が快適に過ごせる為のお手伝いができればと思います。

よろしくお願ひします。

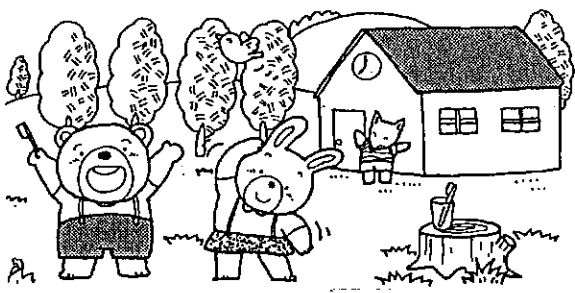
事務日より

早いもので今年も後2ヶ月となりました。今から、又忙しく気ぜわしい時期になりますね。いかがお過ごしですか？

利用者の方が事務室の窓の向うから色々と話かけてくれるんですけど、施設長が「橋口さんの方が遊んでもらっているんですよ。」

私は、半信半疑で「私は、遊んでもらっているの？」と聞いてみたところ、「うん」という返事：なんだ。私は、遊んでもらったのか？二年経ってやっと気が付いたのでした。

橋口



後援会ありがとうございます

後援会募集のご案内

- 亀山 勝彦・中田 康則
- 八木 秀樹・森本 島恵
- 富田 郁子・平野 順子
- 浦中 公明・大石 清子
- 中野 浩二・中原 和子
- 高木 勝・麻生 章
- 堤 順也・富 淳美
- ペインズ伸子
- 田中 淳 (有) 田中不動産
- 本山 久子 本山運送

三気の里では、後援会を募集しています。御入会頂いた方には、毎月発行している機関紙「たんぽぽ」をお送り致します。

振り込み先

口座番号

0197018114902

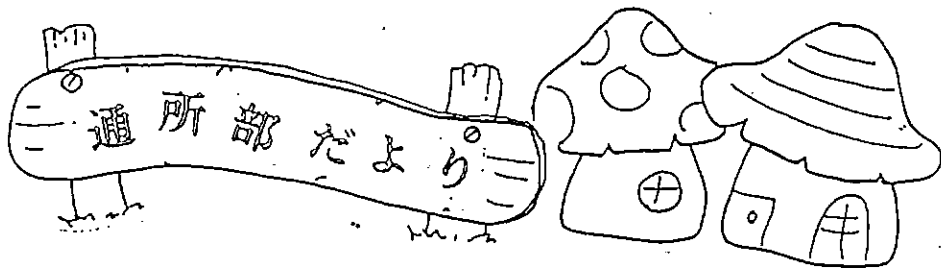
社会福祉法人 三気の会後援会
保護者会代表 魚谷 秀文 宛

住所 熊本県菊池郡大津町森5412

一口 3千円

団体は、一万円より





11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
⑤ 2日~3日宿泊レク(長崎)			1	2	3回	4	
⑤ 11日(土)保護者会				⑤ 宿泊レク		⑥ 休み	
5	6	7	8	9	10	11	
⑥ 休み						⑦ 職員会	
12	13	14	15	16	17	18	
⑥ 休み	⑥ 休み					⑥ 休み	
19	20	21	22	23回	24	25	
⑥ 休み				⑥ 休み		⑥ 休み	
26	27	28	29	30			
⑥ 休み							



通所部通信

秋・秋と言えば読書の秋、スポーツの秋、収穫の秋、そして食欲の秋、ここ通所部でも秋真っ盛りです。

先日のレクリエーションで初体験☆フランス料理のランチコースを食べに行きました。職員の心配をよそに、いつも通り食べ始める享ちゃん。あなごのテリリーヌ、カリフラワールのスープ、メインのさわらとマッシュポテト、時々上品に口を拭きながら進めていくその姿に驚きました。貴くんは周りの若い女性客に気を取られながらも運ばれてくる料理をしっかりと見ては店員さんに貴くんスマイルを返していました。接客にうるさい享ちゃん、今日は大満足の様で、帰り際厨房の方に「ご苦労様」と声を掛けていました。味にうるさい貴くん、口に合わない物は摂らないのに、今日はすべて平らげてお店の人を喜ばせていました。色々な事を想像し過ぎて最初は味がしないと言っていた岩下さんも、美味しい魚に濃厚なソースをペロリ

と食べ「おいすい」と笑っていました。人通りの多いアーケードも無事通過でき楽しいレクとなりました。

最後に爽やかな秋。この秋、貴くんはおやつ取りに行ける様になりました。自分の作業終了と3時になった時計を見てピーンと合い、自らカゴを取りに行くのです。通所部一同涙がでた出来事でした。そしてそんな後輩をサポートするのが享ちゃん。「どうぞ、貴くん」「貴くんの仕事は手伝いません」と温かく見守り、優しくきびしく接してくれます。

もうじき来る冬も、この温かさで乗り切っていくことでしょうか！

西山



11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土	備考
㊦ 作品展示会 ㊦ からいもフェスタ ✍ たんぼ収穫日	㊦ 保護者会 ㊦ 誕生会 ㊦ 帰宅バス		1	2	3 文化の日 ㊦ 作品展示会	4 俊二さんの誕生日(34)	
5	6	㊦ 1班レク	8	9 有働さんの誕生日(59)	10	11 ㊦ 保護者会	
12 ㊦ からいもフェスタ 由布子さんの誕生日(33)	13	㊦ 2班レク	15 ㊦ 6班レク	16 ㊦ 4班宿泊レク	17	18	
19	20	㊦ 3班レク	22	23 ㊦ 勤労感謝の日 ㊦ 誕生会	24 ✍ たんぼ収穫日	25 ㊦ 帰宅バス	
26	27	28	29 米田さんの誕生日(25)	30 魚谷さんの誕生日(32)	俊二さん・有働さん 由布子さん・米田さん・魚谷さん 誕生日おめでとうございます		



☆生け花

西村 栄子
※敬称略

ボランティアありがとうございます

石丸

ボランティア通信

三気の里の大イベントの一つである運動会も終わり、すっかり秋から冬支度へと三気の里の木々も準備を始めました。運動会では、

たくさんボランティアさんにお手伝いいただきありがとうございます。ボランティア担当をさせました。ボランティア担当をさせてもらってうれしい瞬間です。ボランティアさんの中には、三気の里の非常勤職員のように何かあるごとに駆けつけてくれる人が何人もいて、みんな仲間のようになっています。いつもいつもありがとうございます。

編集後記

秋風が爽やかな季節も過ぎ、朝晩の寒さが次の季節を感じさせますね。皆様がいかがお過ごしでしょうか。

“ミレニアム”と騒がれた今年も残すところ、後2カ月足らず。ドラえもんの世界だと思っていた、21世紀がもう目の前にあるのだと思うと、時の流れの速さに改めて驚かされます。そんな事を思いながら、ふとたんぼの書庫に目をやると、たんぼの年間誌が。1987年からあたたかい手書きで始まった、三気の里の機関誌たんぼ。毎月発行され皆様の手に届くたんぼは、三気の里の何でもない出来事、とんでもない出来事、が綴られています。たんぼは編集中心にもかかわらず、偶然に開いた過去のたんぼ年間誌に見入り、こんな事もあったのかと笑みを浮かべてしまいました。

20世紀のたんぼは。それは、21世紀に残るたんぼなのです。これからも、皆様に喜ばれるたんぼを三気の里全体で作りに上げていきたいと思ひます。

岩本